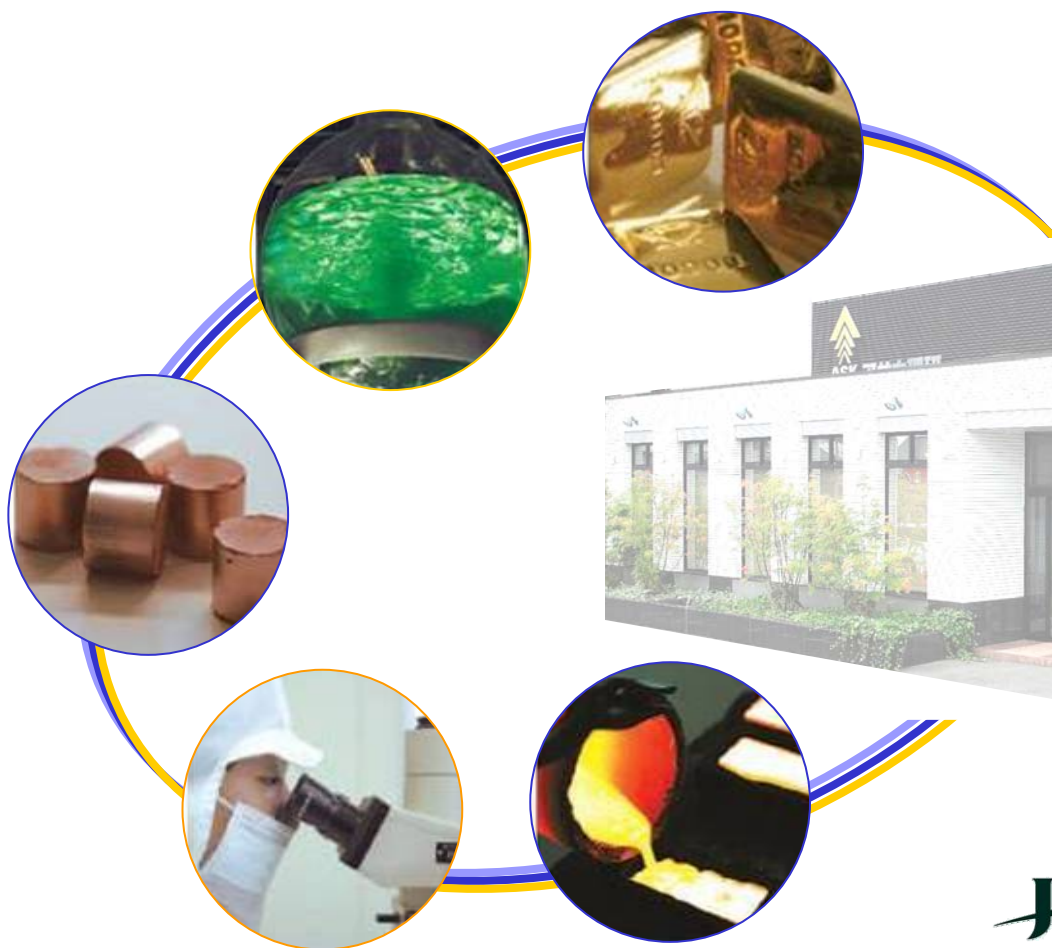




株式会社アサカ理研

～ 貴金属事業と環境事業により、
地球環境保護に貢献する
「市場創造型企業」～



2013年9月期 決算説明会

説明資料

2013年12月4日

JASDAQ 証券コード 5724

□ 事業構造転換に向けた取り組み

電子部品・デバイス業界のサポートカンパニーとしての歩み
貴金属および銅を中心とした製品構成

外部要因の影響をできるだけ抑え、
安定成長に向け、事業構造転換への取り組みの最中

新規事業の結実と、新たな技術開発投資

→ 2013年9月期の実績、2014年9月期の業績予想

- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2014年9月期 業績予想
- 第三部 当社の現状と今後の戦略

- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2014年9月期 業績予想
- 第三部 当社の現状と今後の戦略

□ 売上高減少、営業減益、経常増益

□ 売上高変化の主要因

- ・ 減少要因 取引形態変更による受託加工取引の割合増
 電子部品・デバイスの生産低調による数量減
- ・ 増加要因 貴金属価格の上昇

なお、取引形態変更による売上高減少は、営業利益に影響を与えない。

□ 営業減益の要因

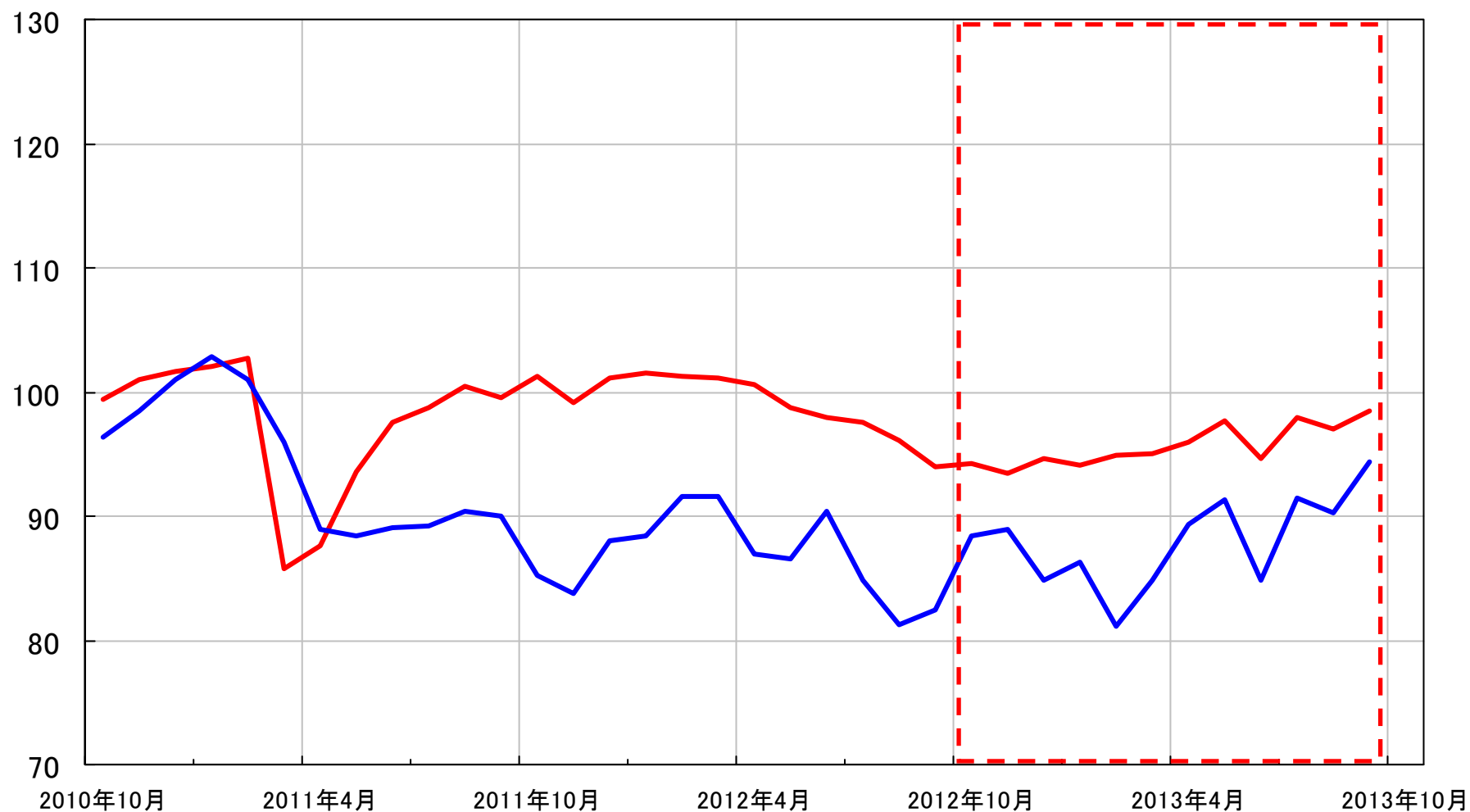
研究開発を含めた新規事業開発費用の増加

□ 経常増益の要因

前期発生したデリバティブ評価損の影響

(2005年 = 100.0)

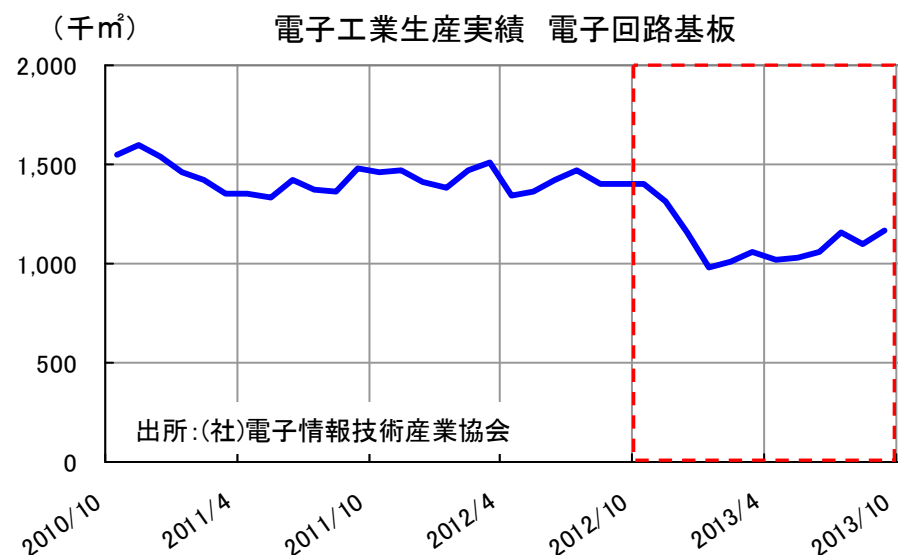
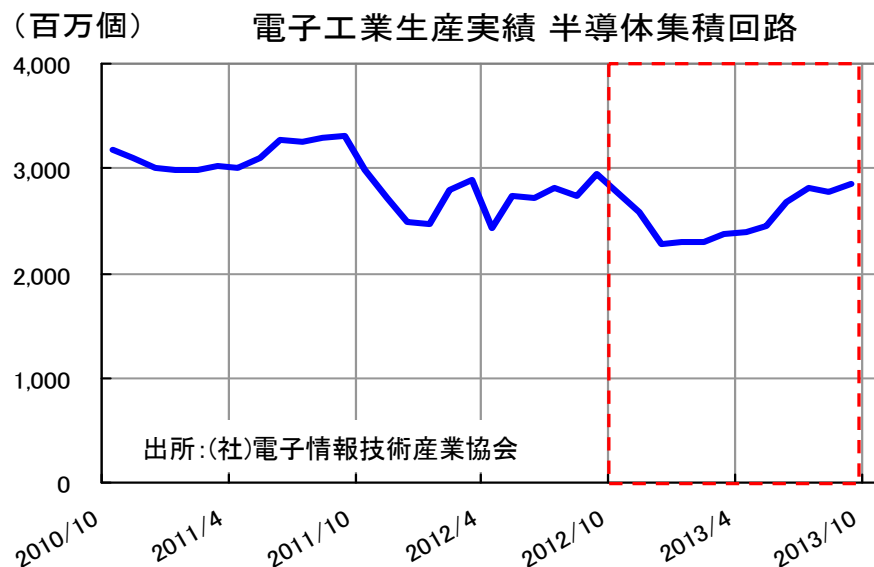
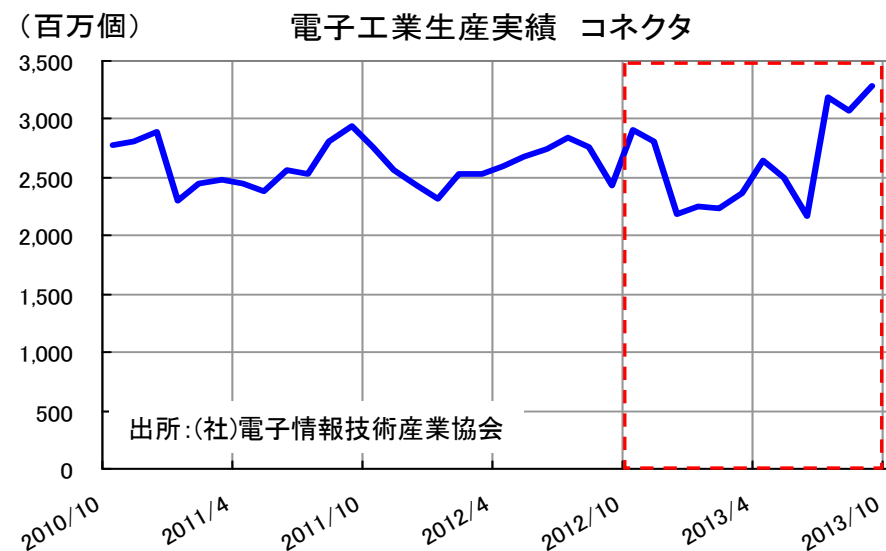
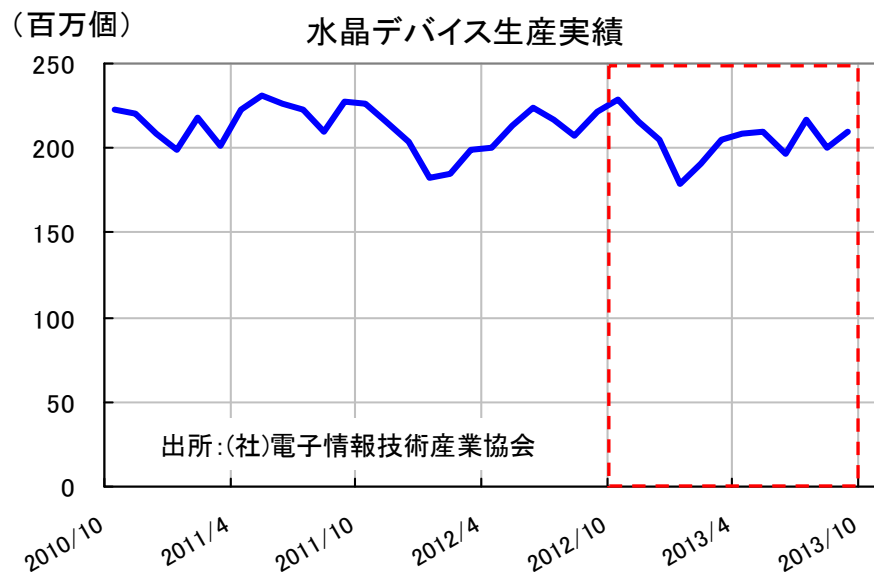
— 全業種 — 電子部品・デバイス工業

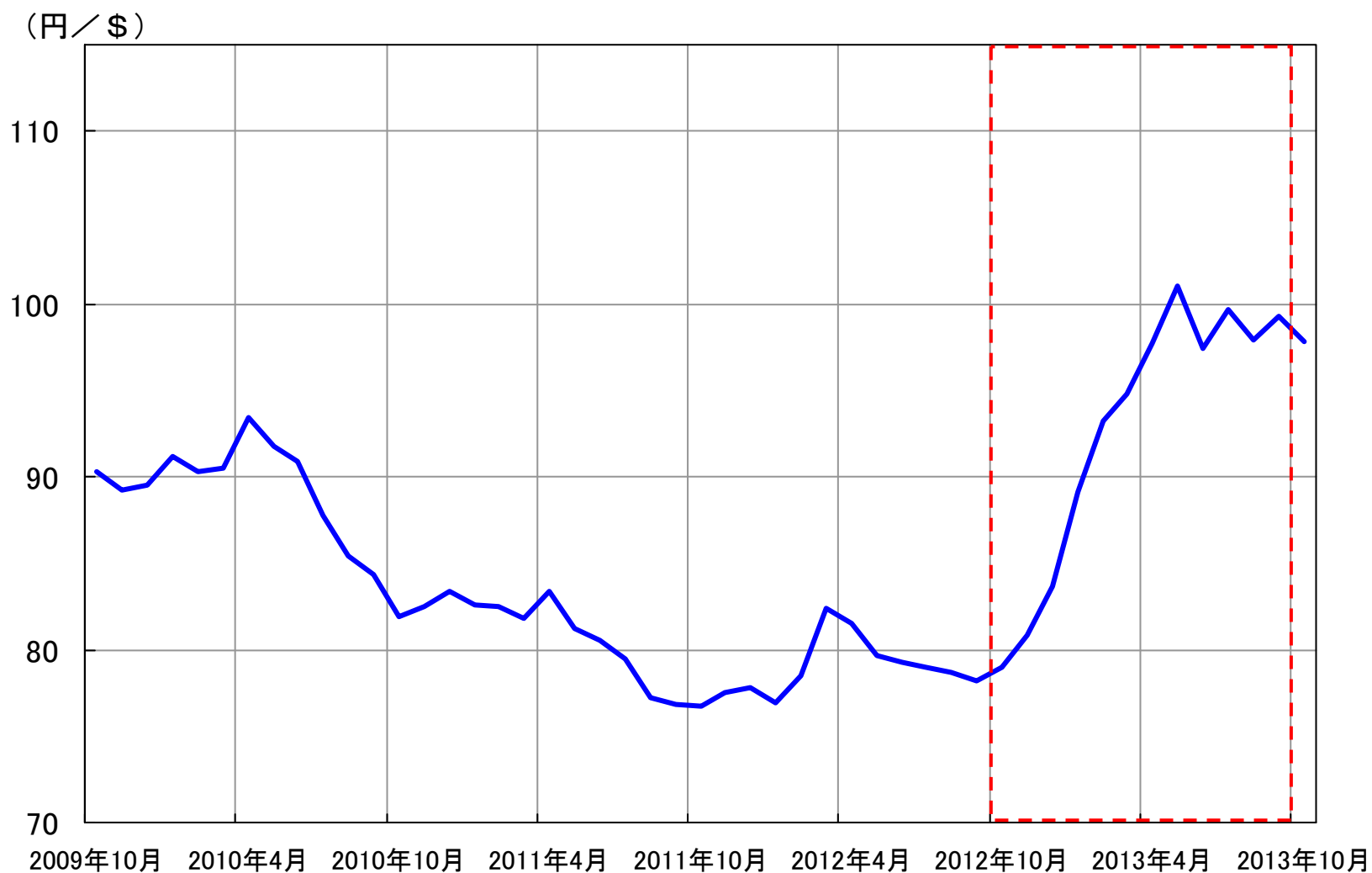


出所: 経済産業省発表 鈇工業指数(生産・季調済み)

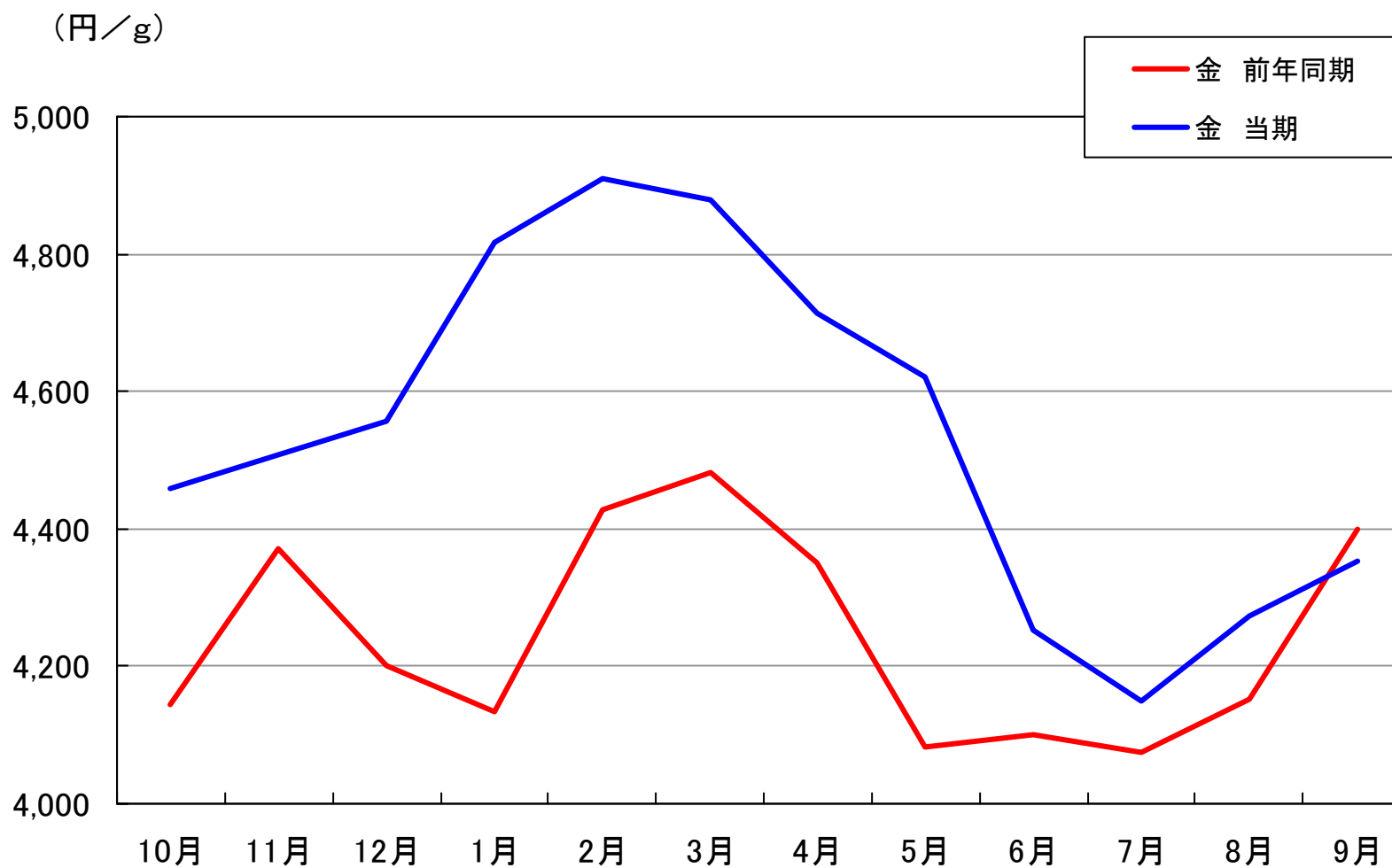
事業環境② 主要なお客様が属する業界の生産実績推移

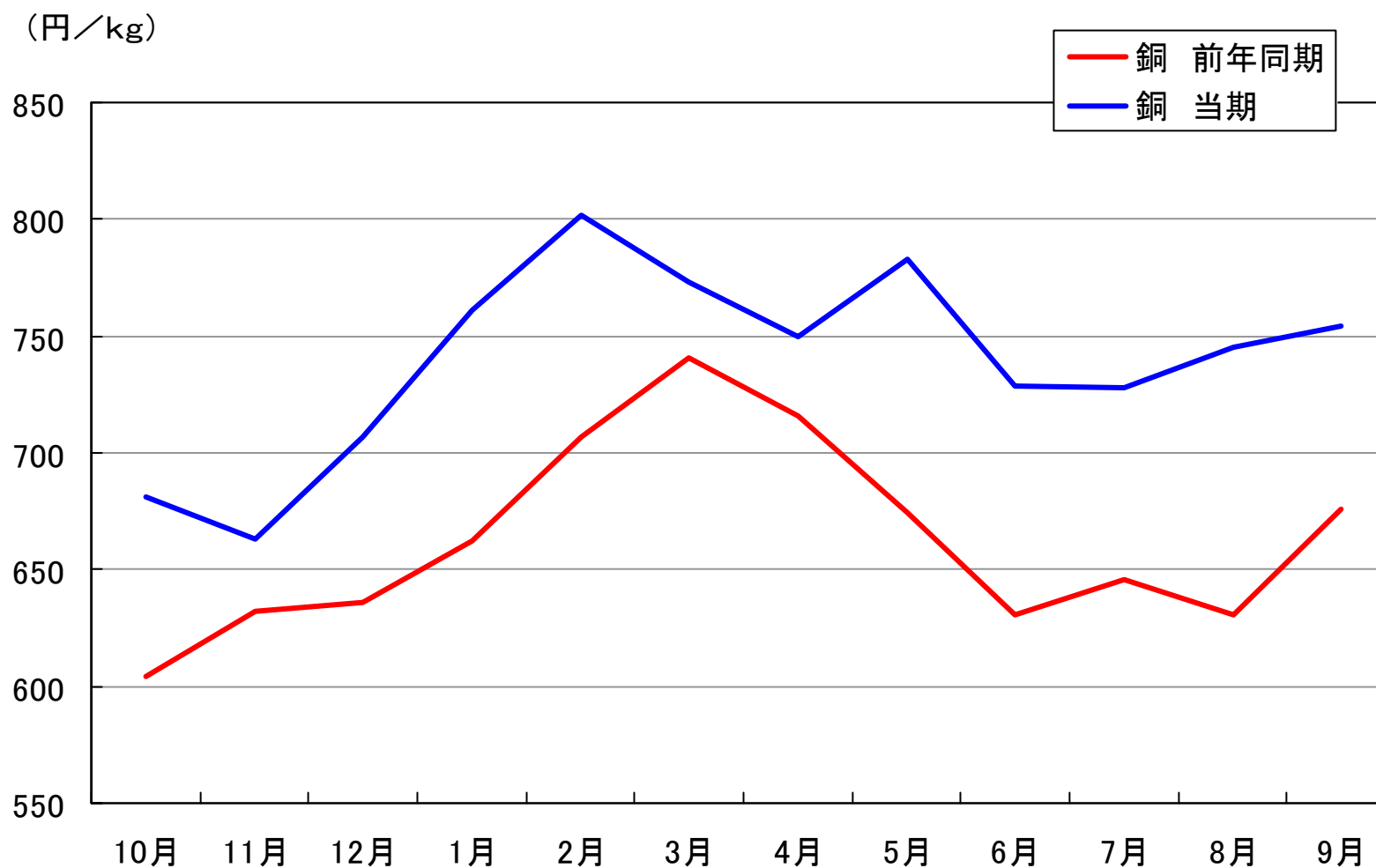
株式会社アサカ理研

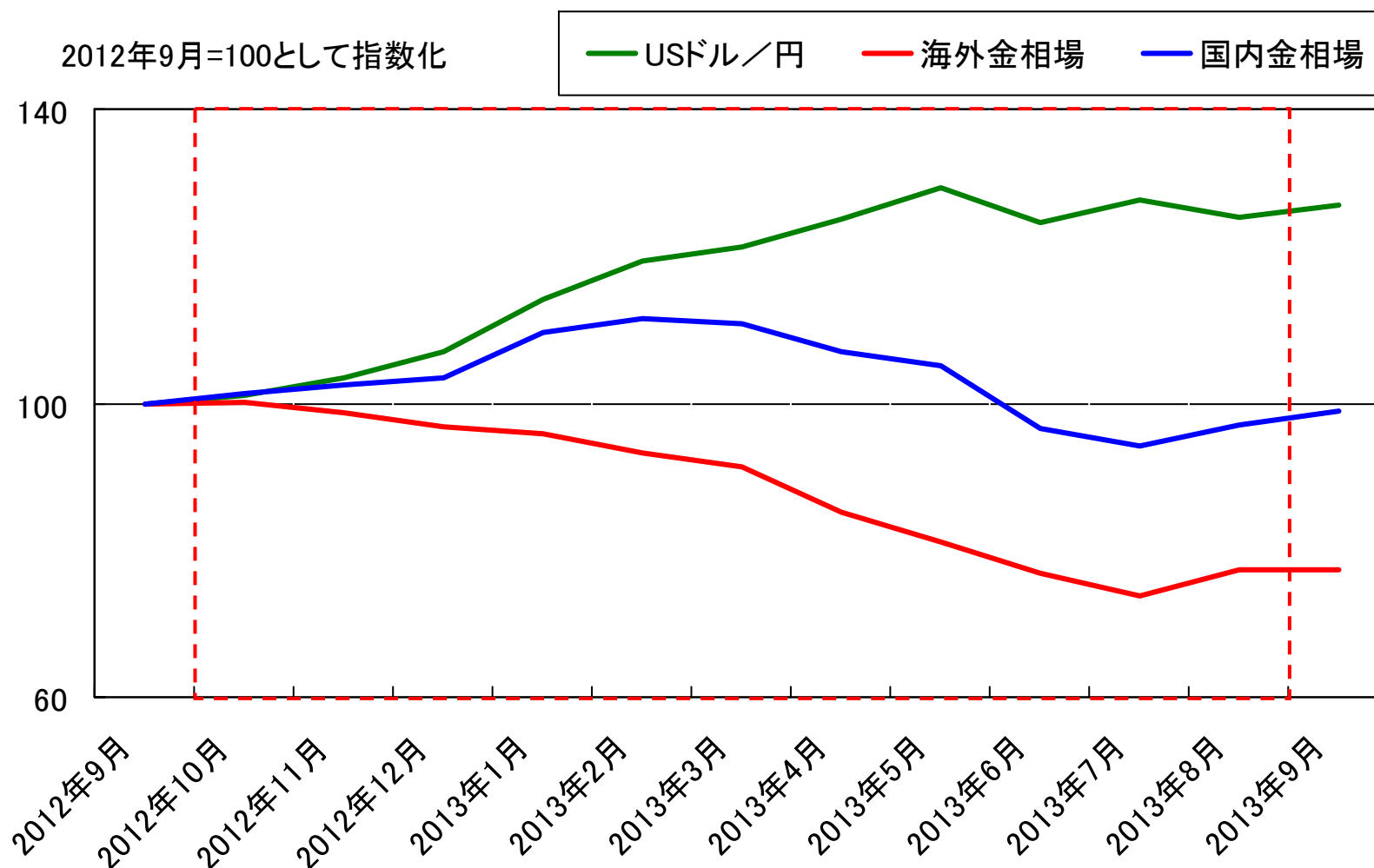




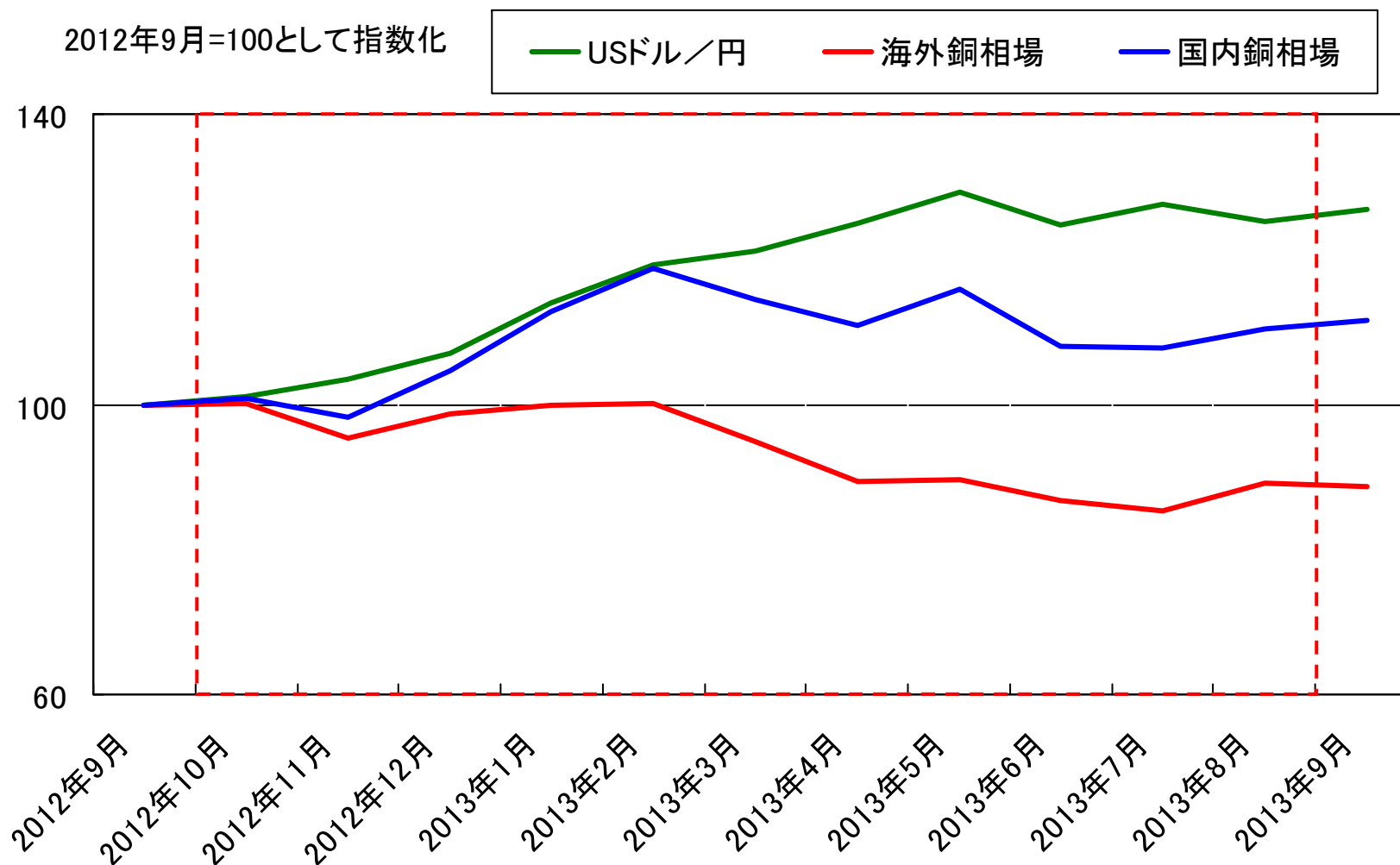
出所: 日本銀行(東京市場ドル・円 スポット 中心相場/月中平均)







出所：日本銀行（為替）、三菱商事（金）、MetalPrice.com（海外金） いずれも月平均



出所：日本銀行（為替）、産業新聞（国内銅）、MetalPrice.com（海外銅） いずれも月平均

□ 国内景気

- 経済・金融政策に対する期待感の高まり
- 長期に渡った不況から回復の方向

□ 電子部品・デバイス工業

- 生産活動は低調に推移

□ 金属価格

円安の影響で高値で推移

- 国内金相場は高値で推移
- 国内銅相場も高値で推移

□ 製造プロセス改革

- 増産・合理化のための設備投資
- 多能工化による効率向上
- 取り扱い品目拡大に向けた前処理技術開発

□ 管理コスト削減

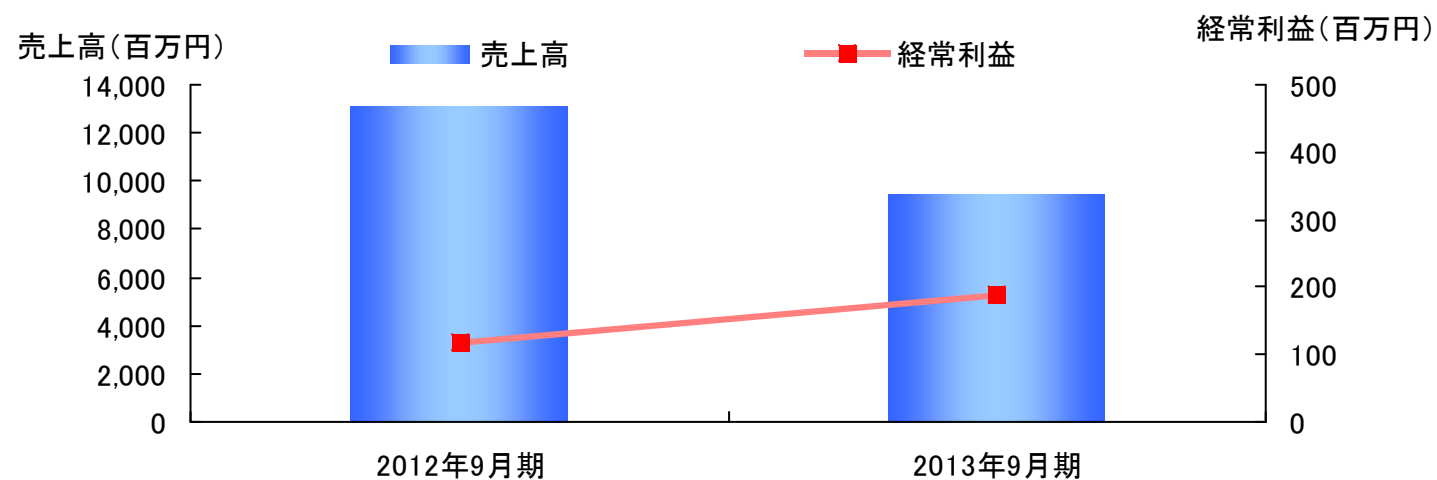
- 間接部門の業務のあり方を抜本見直し



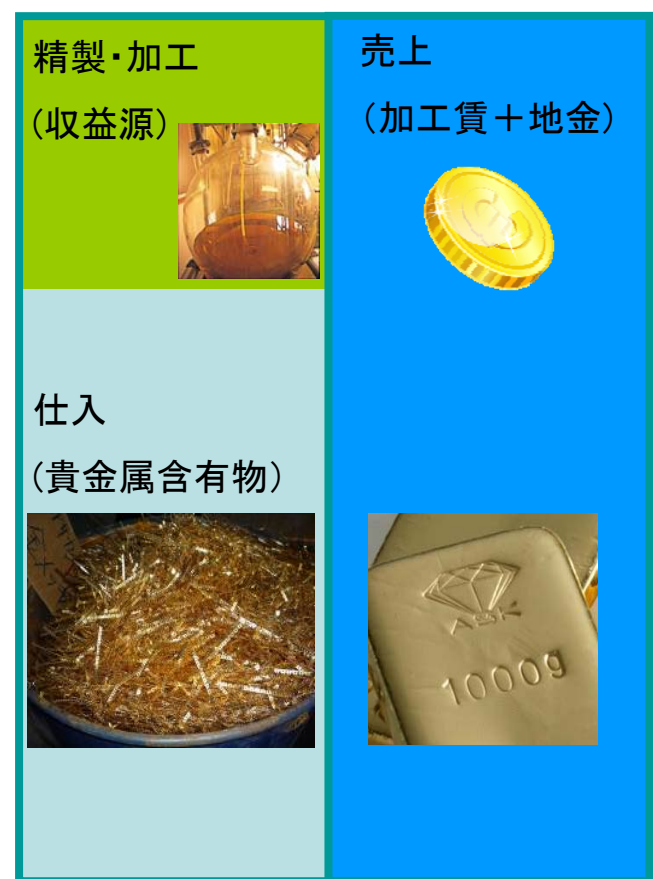
□ 新規事業開発投資の継続・拡大

- 複数の事業テーマで成果
- レアメタル・レアアースに関する研究開発拠点の新設を決定

	2012年9月期	2013年9月期		
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	前年同期比	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,093	9,456	▲ 3,636	▲ 27.8
売上総利益	1,595	1,511	▲ 83	▲ 5.2
営業利益	249	203	▲ 46	▲ 18.4
経常利益	118	190	71	60.1
純利益	73	116	43	58.5



■ 売買取引



売上

■ 受託加工取引

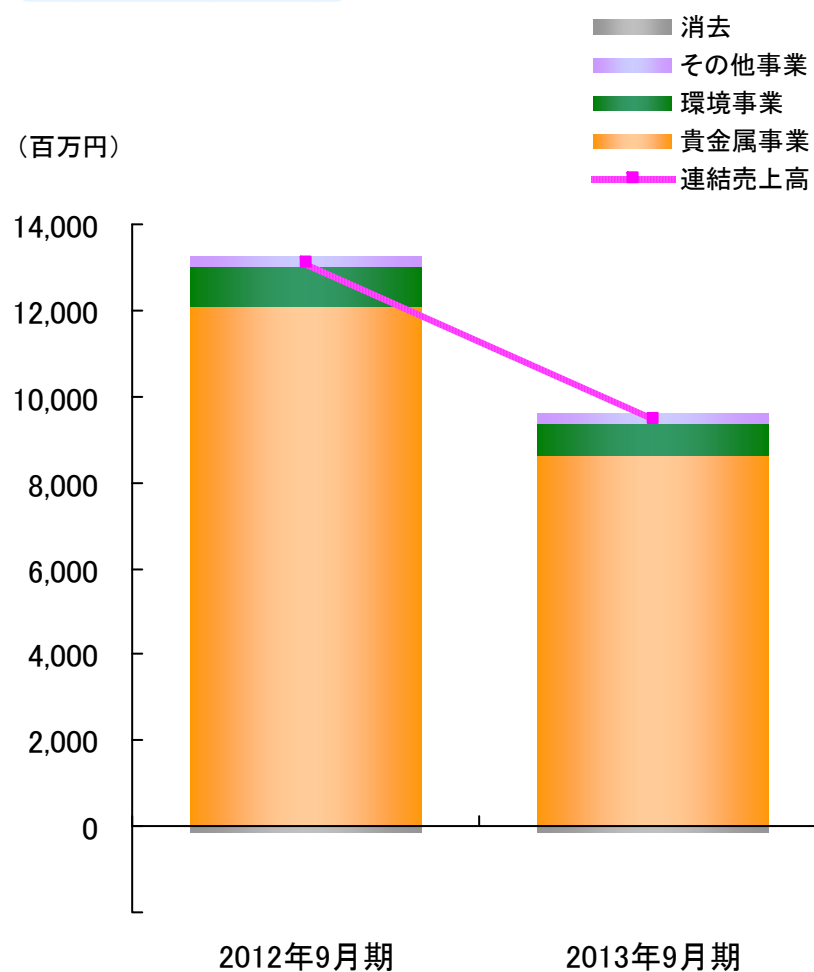


セグメント別業績①

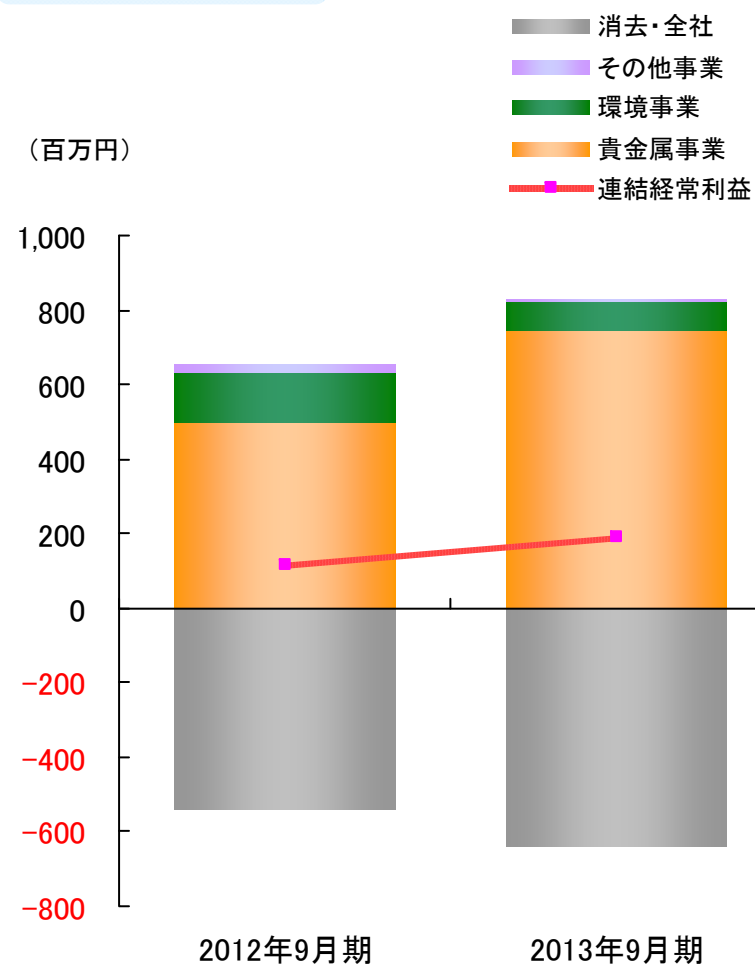
株式会社アサカ理研

		2012年9月期		2013年9月期			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
連 結 売 上 高		13,093		9,456		▲ 3,636	▲ 27.8
	貴 金 属 事 業	12,067	91.1	8,651	90.0	▲ 3,416	▲ 28.3
	環 境 事 業	949	7.2	750	7.8	▲ 198	▲ 21.0
	そ の 他 事 業	228	1.7	207	2.2	▲ 20	▲ 9.1
	計	13,245	100.0	9,608	100.0	▲ 3,636	▲ 27.5
	消去	▲ 152		▲ 152		0	0.3
連 結 経 常 利 益		118		190		71	60.1
	貴 金 属 事 業	502	76.4	747	89.9	244	48.6
	環 境 事 業	129	19.7	75	9.0	▲ 54	▲ 42.2
	そ の 他 事 業	25	3.8	8	1.1	▲ 16	▲ 64.9
	計	657	100.0	830	100.0	173	26.3
	消去・全社	▲ 538		▲ 640		▲ 101	18.9

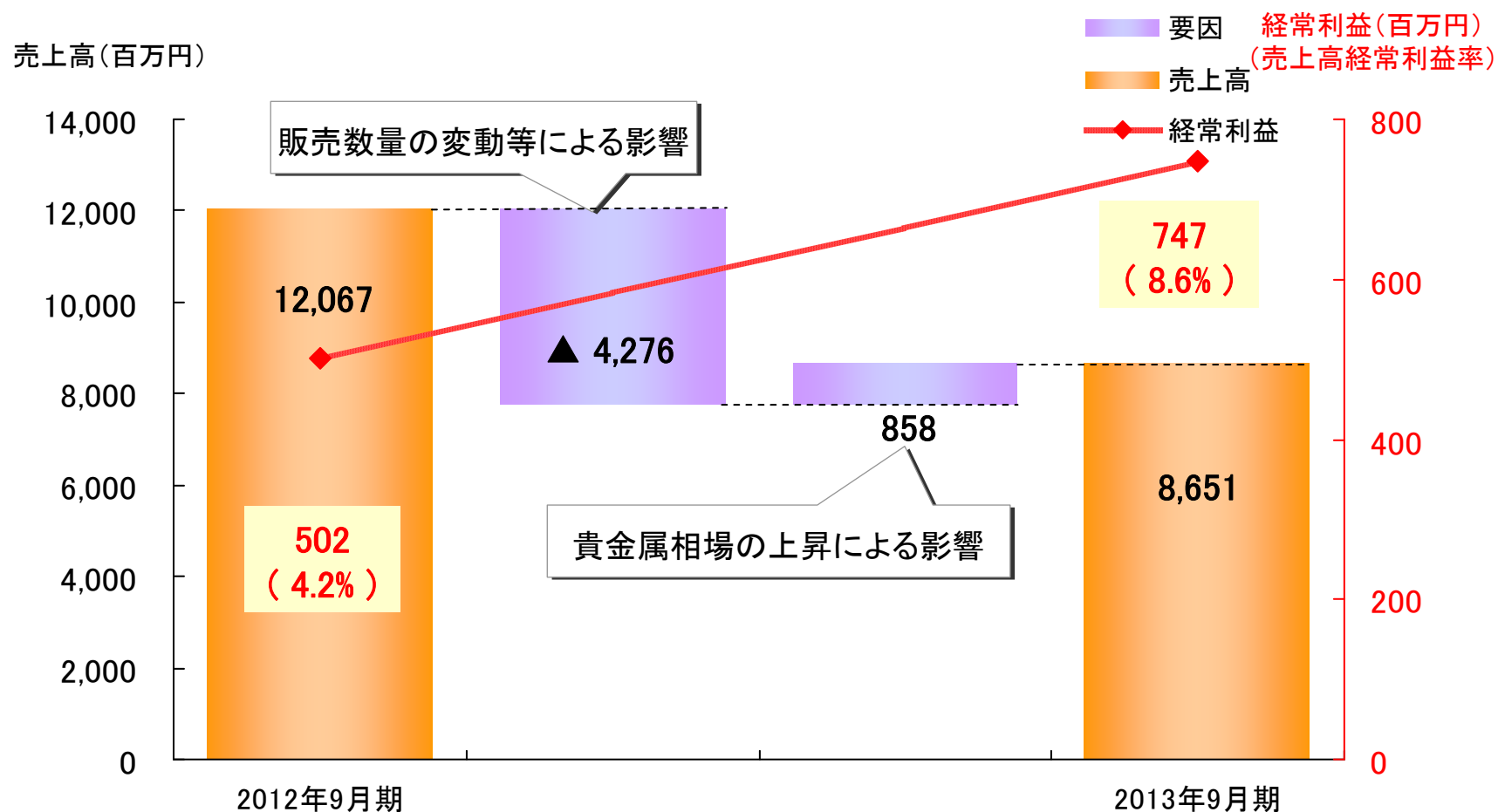
売上高



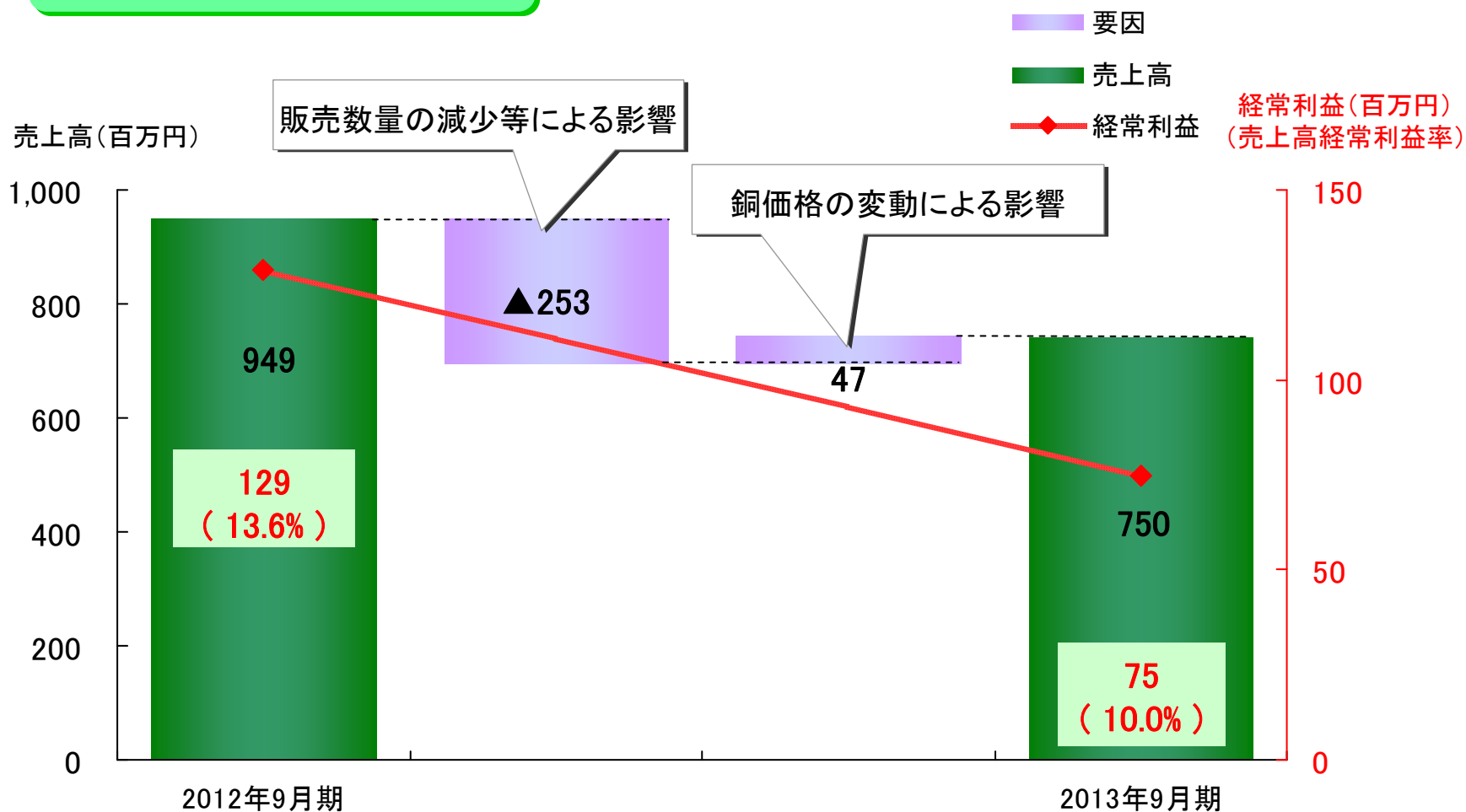
経常利益



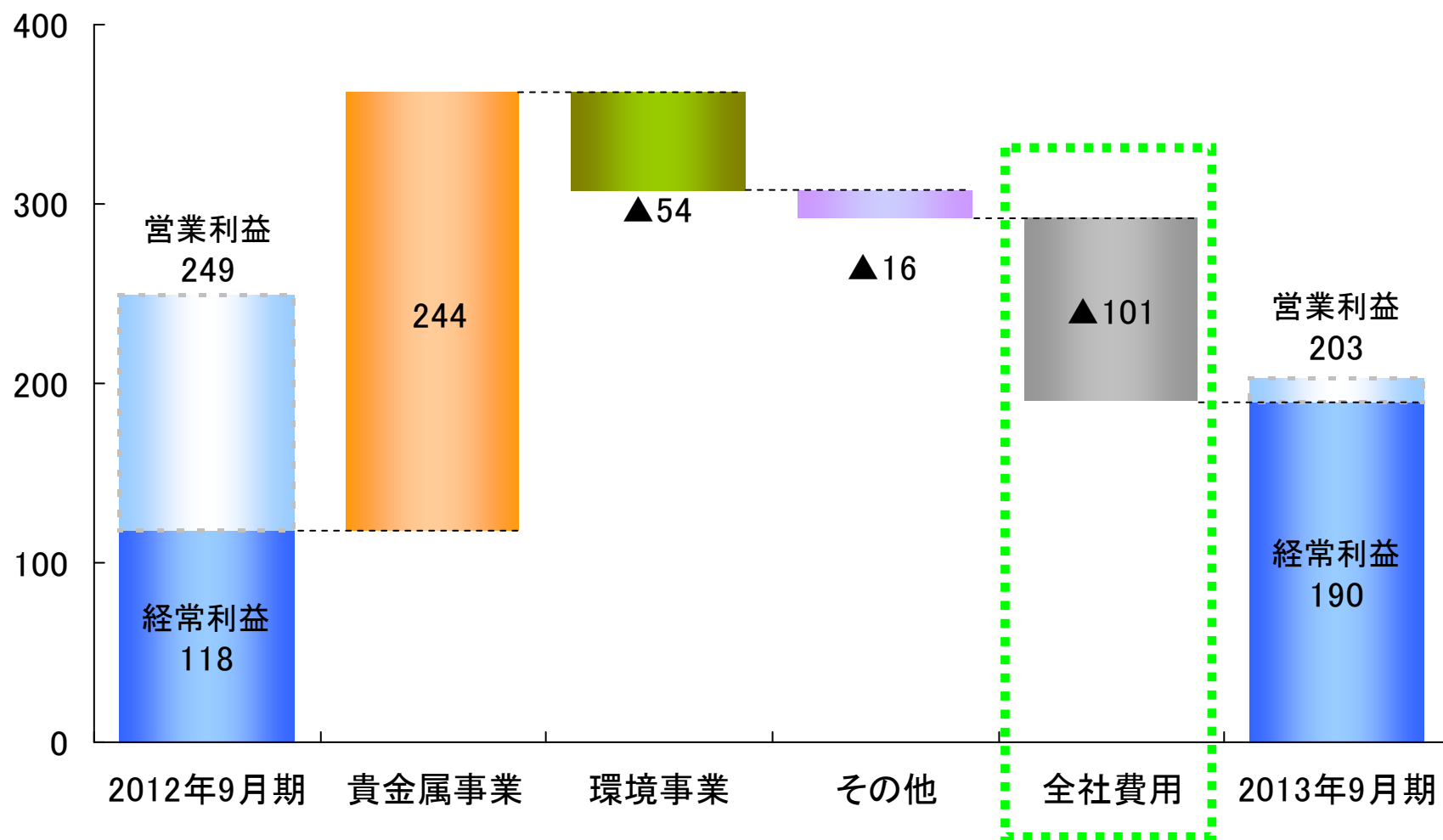
貴金属事業



環境事業



営業・経常利益の変動要因

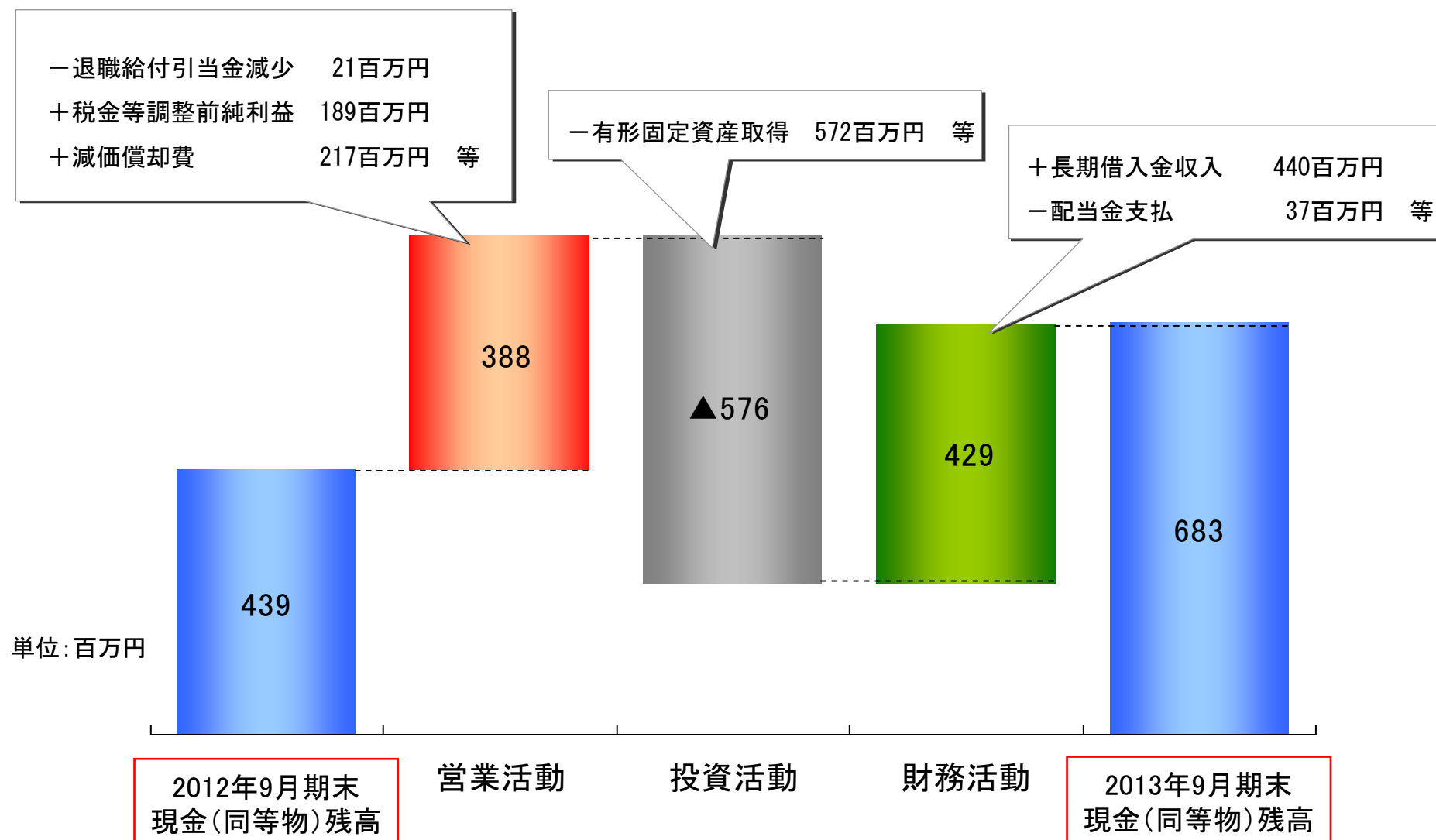


	2012年9月期		2013年9月期			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	13,093	100.0	9,456	100.0	▲3,636	▲ 27.8
売上原価	11,497	84.0	7,944	87.8	▲3,553	▲ 30.9
売上総利益	1,595	16.0	1,511	12.2	▲83	▲ 5.2
販管費	1,345	13.8	1,308	10.3	▲37	▲ 2.8
営業利益	249	2.2	203	1.9	▲46	▲ 18.4
営業外収益	22	0.3	28	0.2	5	25.5
営業外費用	153	0.4	41	1.2	▲111	▲ 72.7
経常利益	118	2.0	190	0.9	71	60.1
特別利益	6	0.0	0	0.1	▲6	▲ 100.0
特別損失	1	0.0	0	0.0	0	▲ 24.9
純利益	73	1.2	116	0.6	43	58.5

		2012年9月期末		2013年9月期末		
		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 増減額 (百万円)
資 産	流動資産	2,552	54.2	2,781	56.5	229
	固定資産	1,962	45.8	2,350	43.5	387
	資 産 合 計	4,514	100.0	5,132	100.0	617
負 債 純 資 産	流動負債	1,344	33.4	1,712	29.8	367
	固定負債	1,054	23.8	1,220	23.4	166
	負 債 合 計	2,399	57.2	2,933	53.1	534
	純 資 産 合 計	2,115	42.8	2,198	46.9	82
負 債 純 資 産 合 計		4,514	100.0	5,132	100.0	617

資産合計 +617百万円
 負債合計 +534百万円
 純資産合計 + 82百万円

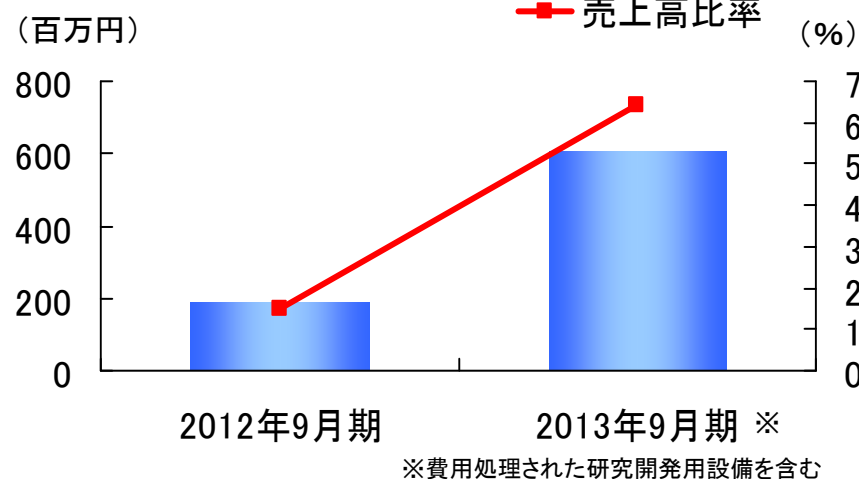
現金及び預金+243百万円、土地+324
 借入金+442百万円、未払法人税等+67百万円
 利益剰余金+79百万円



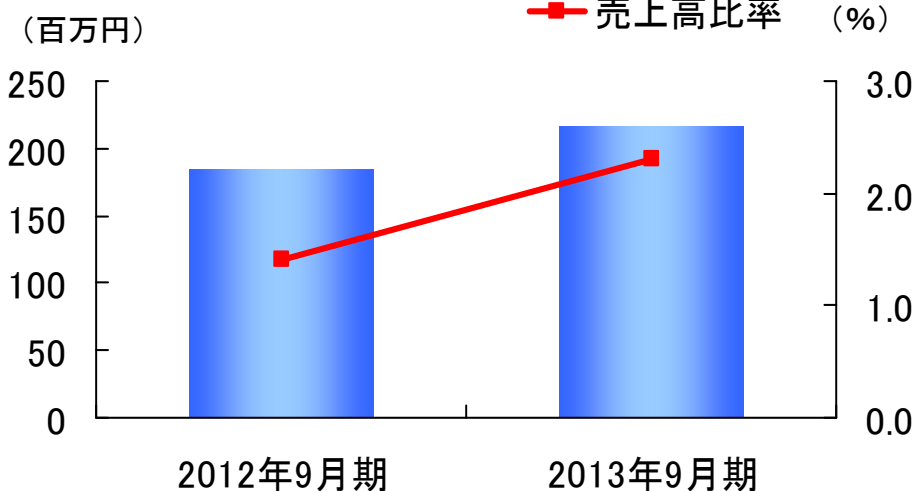
設備投資額・減価償却費・研究開発費

株式会社アサカ理研

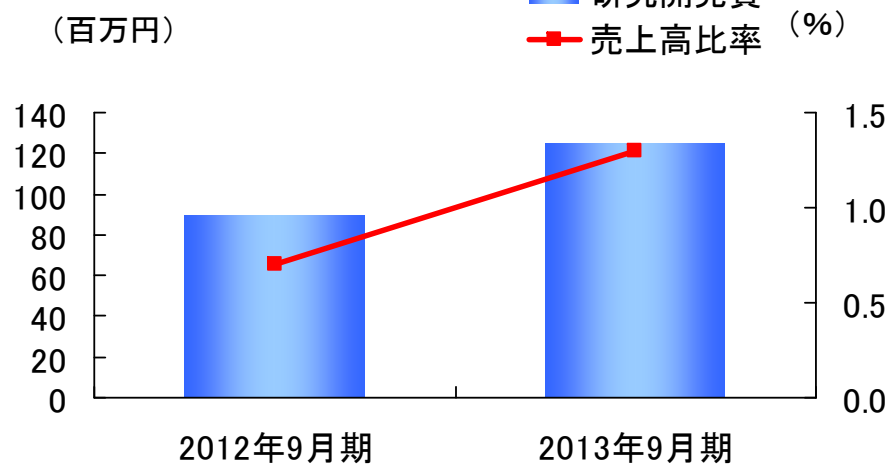
設備投資額



減価償却費



研究開発費



- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2014年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

- 売上高増加、営業・経常減益、最終増益
- 売上高増加の要因
 - 金属の想定価格低下(－)と
 - 既存事業の拡大および新規事業の伸長(＋)による
- 営業・経常減益の要因
 - 研究開発を含めた新規事業開発費用の増加
 - レアメタル・レアアース回収の事業化に向けた大規模投資
- 最終増益の要因
 - 補助金収入による特別利益の発生
 - (2013年9月期の投資分に対する補助金も含む)

□ 貴金属、銅の市況

- 金融緩和縮小の観測から、相場は弱含みで推移
- 想定価格は金 4,000円／g、銅 700千円／t

□ 当社の取組み

- 製造プロセス改革、管理コスト削減の推進
- 市中の廃棄品からの貴金属回収拡大
- レアメタル・レアアースの新しいリサイクル技術の確立に向けた技術開発投資を実行

	2013年9月期		2014年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	9,456	100.0	9,766	100.0	310	3.3
売上総利益	1,511	16.0	1,478	15.1	▲ 33	▲ 2.2
営業利益	203	2.2	▲ 114	▲ 1.2	▲ 318	▲ 156.3
経 常 利 益	190	2.0	▲ 136	▲ 1.4	▲ 327	▲ 171.8
当期純利益	116	1.2	132	1.4	15	13.4

売上高(百万円)

12,000
8,000
4,000
0

経常利益(百万円)

300
200
100
0
-100
-200

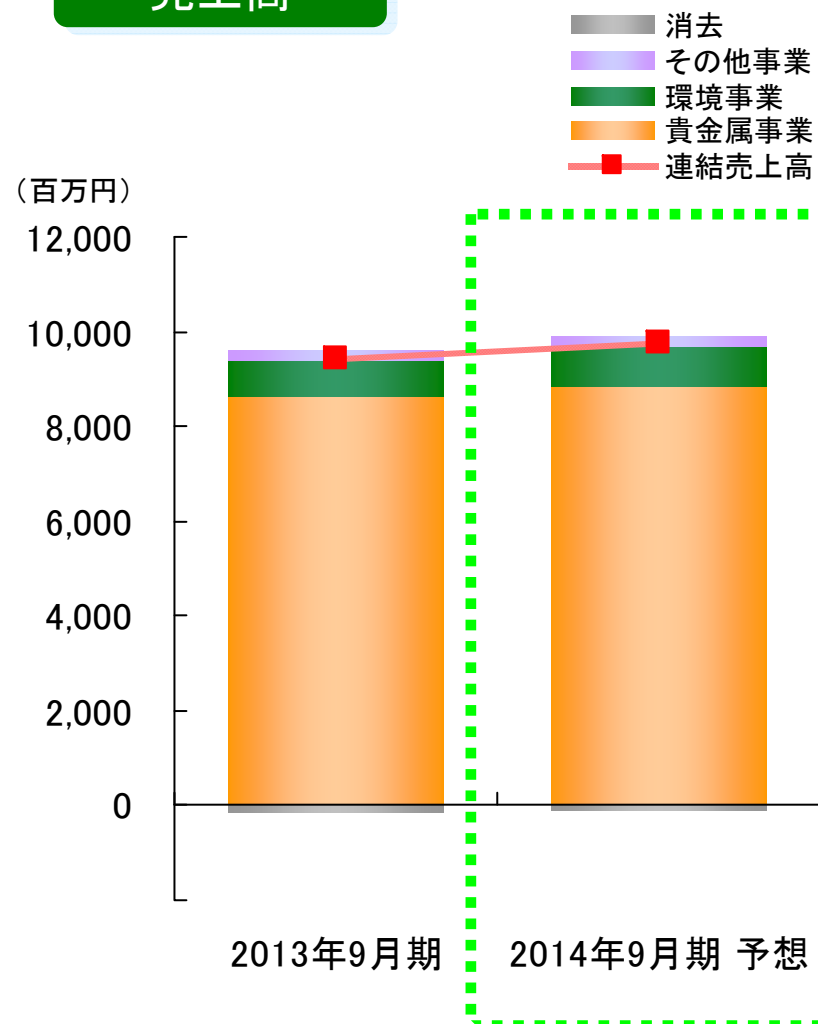
売上高
経常利益

2012年9月期

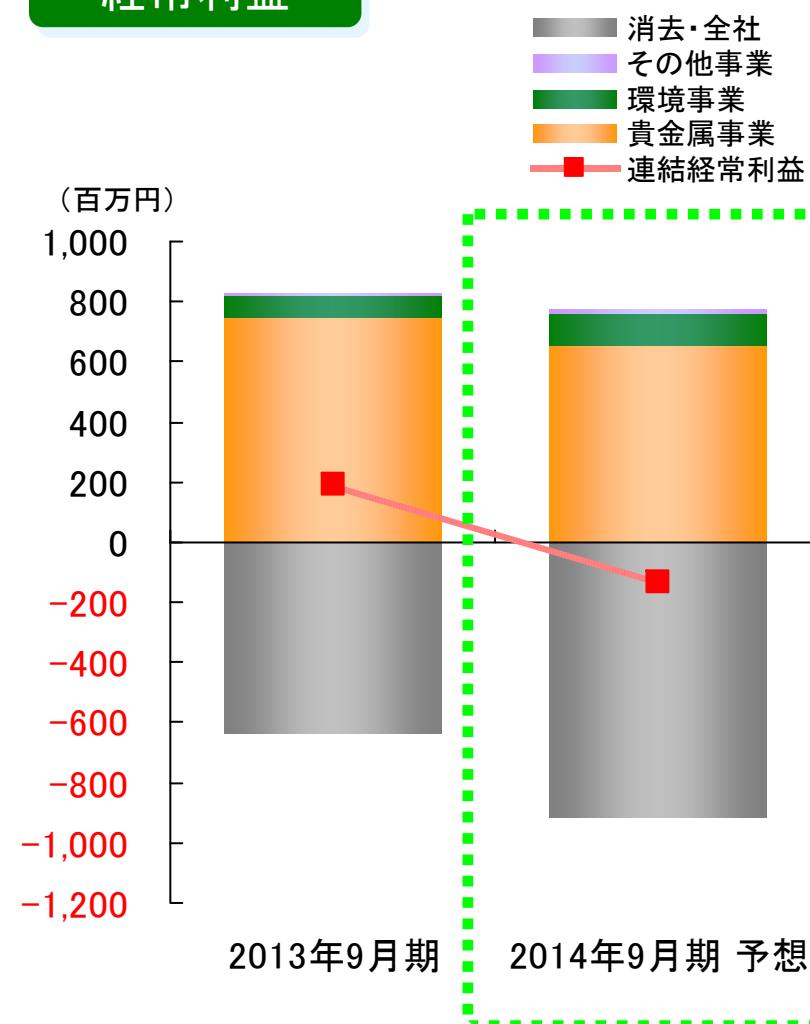
2013年9月期 予想

	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連 結 売 上 高	9,456		9,766		310	3.3
貴 金 属 事 業	8,651	90.0	8,862	89.6	211	2.4
環 境 事 業	750	7.8	823	8.3	73	9.7
そ の 他 事 業	207	2.2	207	2.1	0	0.0
計	9,608	100.0	9,893	100.0	284	3.0
消去	▲ 152	0.0	▲ 126		25	▲ 16.8
連 結 経 常 利 益	190	0.0	▲ 136		▲ 327	▲ 171.8
貴 金 属 事 業	747	89.9	654	84.0	▲ 92	▲ 12.4
環 境 事 業	75	9.0	106	13.6	31	41.5
そ の 他 事 業	8	1.1	18	2.4	9	108.6
計	830	100.0	778	100.0	▲ 52	▲ 6.3
消去・全社	▲ 640	0.0	▲ 915		▲ 275	43.0

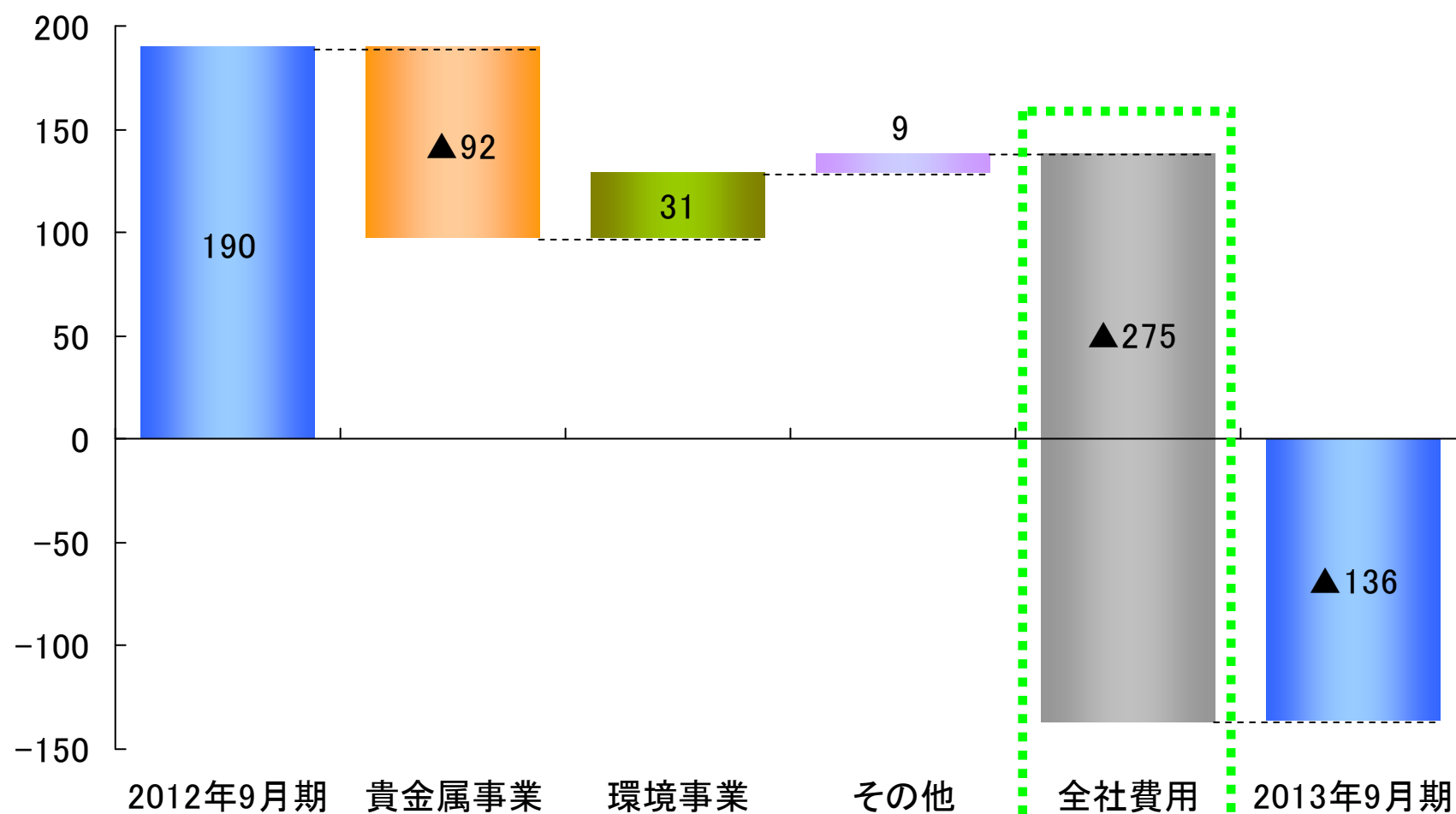
売上高



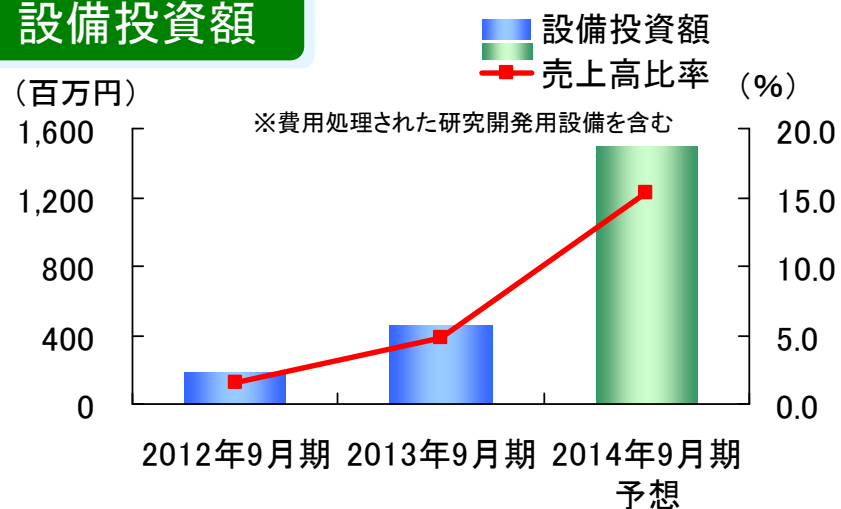
経常利益



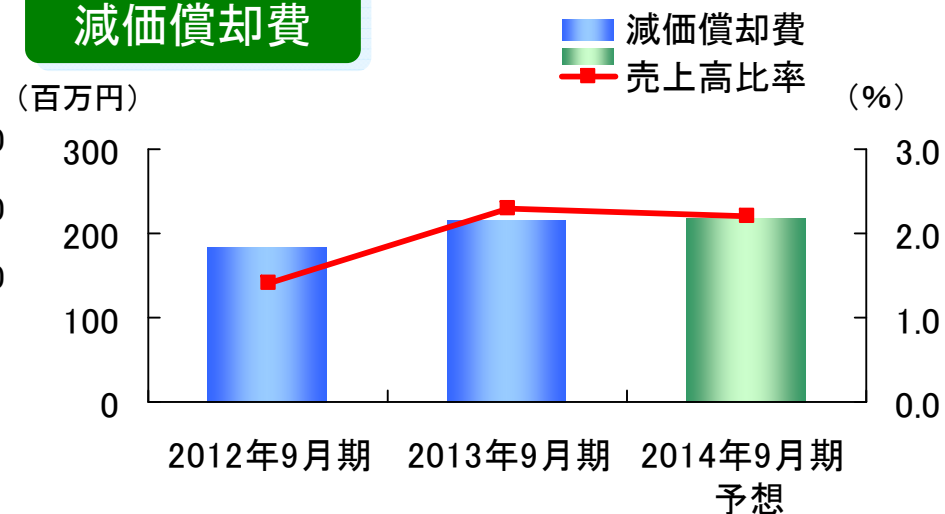
経常利益の変動要因



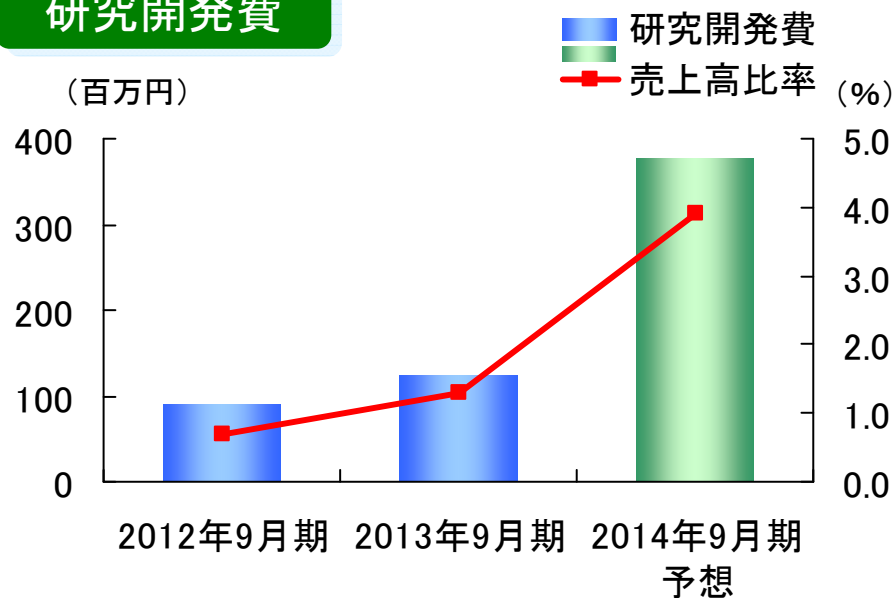
設備投資額



減価償却費



研究開発費



	2013年9月期		2014年9月期 予想			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	9,456	100.0	9,766	100.0	310	3.3
売上原価	7,944	84.0	8,288	84.9	343	4.3
売上総利益	1,511	16.0	1,478	15.1	▲ 33	▲ 2.2
販管費	1,308	13.8	1,593	16.3	285	21.8
営業利益	203	2.2	▲ 114	▲ 1.2	▲ 318	▲ 156.3
営業外収益	28	0.3	14	0.2	▲ 14	▲ 48.7
営業外費用	41	0.4	36	0.4	▲ 5	▲ 12.0
経常利益	190	2.0	▲ 136	▲ 1.4	▲ 327	▲ 171.8
特別利益	—	0.0	359	3.7	359	#DIV/0!
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	▲ 100.0
当期純利益	116	1.2	132	1.4	15	13.4

- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2014年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

□ 当社のこれまでの業績の特徴

- 外部環境に左右されやすい
- 外部環境とは、電子部品・デバイス工業分野の生産動向や貴金属及び銅の価格変動

□ 安定した成長に向けた新規事業開発の取り組み

- 外部環境の影響を受けにくい事業構造を実現し、安定した成長を目指す
- 新規事業開発投資を行い、新事業の創出を推進

□ 新規事業開発の基本方針

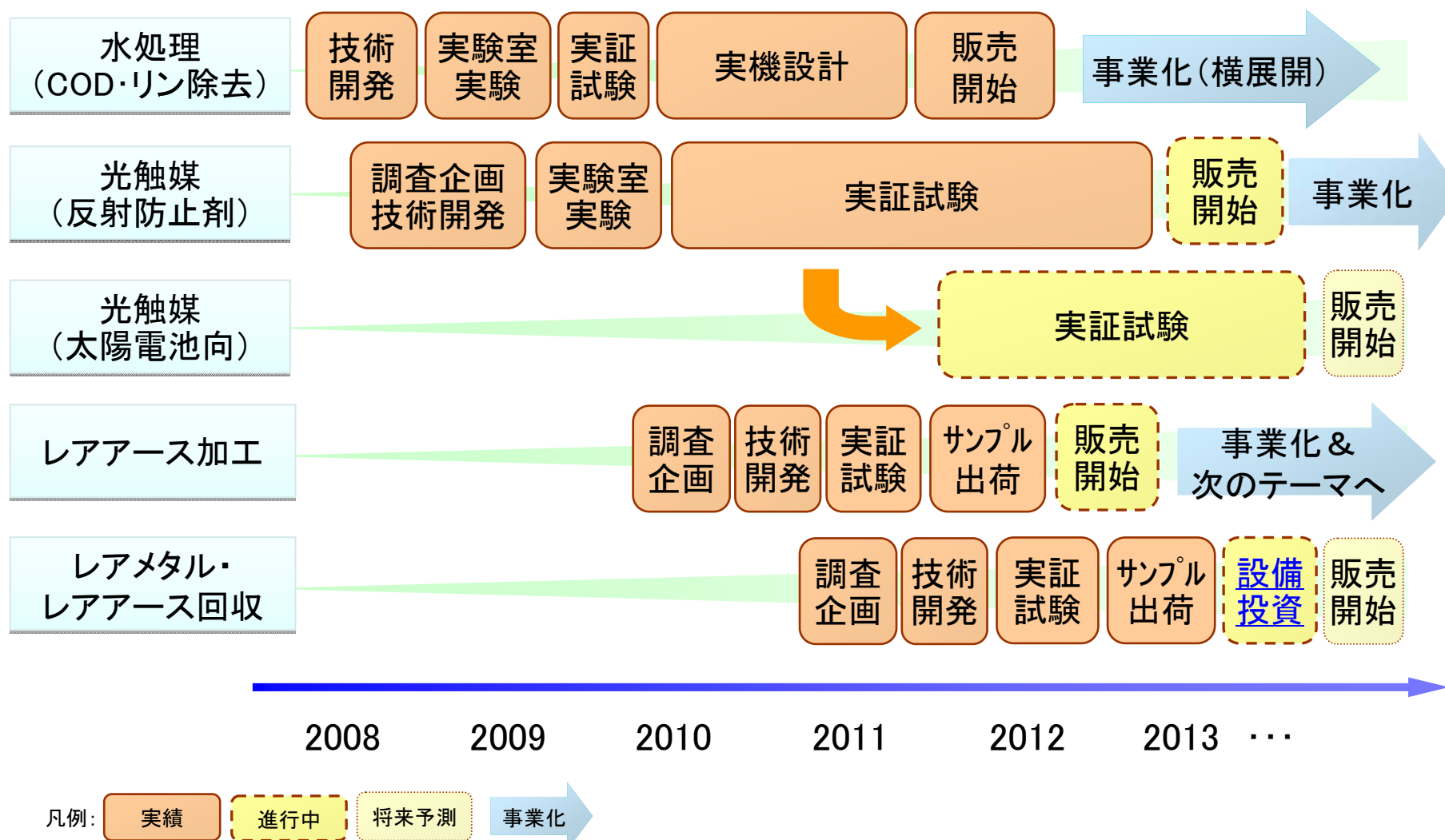
- 当社のコア技術を活かしながら、市場またはお客様の拡大を図る
- 現行の事業をベースとして、海外に進出する

コア技術を活かし新規事業の開発に積極的に取り組む

事業	技術的な関連と特徴
レアメタル・レアアース 関連事業	溶媒抽出技術を活かし、補助金を 活用して、先行利益を目指す
歯科材料からの貴金属回収	貴金属回収技術をベースに、 新しいビジネスモデルで勝負する
水処理事業	触媒技術を活かし、大手事業者と 提携して、海外市場も狙う
光触媒事業	触媒技術、無機薬品技術を活かし、 再生可能エネルギー分野へ進出する
海外事業	貴金属のコア技術で、新興国市場の 取り込みを狙う

新規事業の結実とチャレンジの継続

事業	現状
レアアース加工事業	2013年9月期の売上に貢献、新テーマへ
レアメタル・レアアース 回収事業	7月に用地取得、実証設備の建設開始
歯科材料からの貴金属回収	黒字化を達成 独自のビジネスモデルで拡大図る
水処理事業	大手企業とOEM契約締結 汚泥減容に関する新たな取り組みも
光触媒事業	大手太陽電池メーカーより製品受注 順調に出荷を拡大中
海外事業	M&Aの活用も視野に、現地市場を調査



レアメタル

※「地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由で抽出困難な金属のうち、安定供給の確保が政策的に重要」な非鉄金属（経済産業省による定義）。31 鉱種

レアアース

※31 鉱種あるレアメタルの一種で、17 種類の希土類元素の総称
セリウム[Ce]、ランタン[La]など

高機能材

希土類磁石
小型モータ

電子部品

製品の小型軽量化・省エネ化・環境対策

液晶

小型二次電池

燃料電池

排気ガス浄化

次世代自動車

次世代自動車

携帯電話・パソコン

デジタルカメラ

テレビ

コジェネ
レーション
システム

新しい回収技術

エマルションフロー法

処理速度が速くコンパクト

攪拌などを要せずシンプル

分離元素の濃縮性能



大幅な回収コスト
削減を実現

- ・平成23年度「レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業（二次公募）」
- ・平成25年度「ふくしま産業復興企業立地補助金」に採択



研究開発投資総額 約15億円に対し、約7億4千万円の補助金を受ける

事業スケジュール





お問い合わせ先

株式会社アサカ理研

✿ IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



株式会社アサカ理研 管理本部

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL: 024(944)4744

FAX: 024(944)4749

E-MAIL: ir@asaka.co.jp

URL: <http://www.asaka.co.jp/>

- ❖ 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ❖ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ❖ 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。